

発行者 岩瀬日本大学 高等学校
ソーシャルメディア部 海老澤 麻佑 河田 怜子

応援を胸に本番へ

初の共通テストに挑む
令和2年 国立コース激励会



受験生を代表して決意表明を行う皆川さん

新型コロナウイルス感染症拡大が続く中、センター試験の後継となる「大学入学共通テスト」が16、17日の2日間にわたって実施される。昨年12月16日、国立コース共通テスト激励会が行われた。齊藤校長は、中国

の故事を引いて「天は努力した者を見放すことはない」と、努力し続けることが大切であり、「必ず結果となつて表れる。現役生は最後まで伸びるのでこの一ヶ月が重要」と激励した。小泉教頭は、「限界突破」という言葉

を示し、模試の結果がE判定だったとしても、予備校がつくった押しつけられた限界ではなく、自分の本当の限界を突破できるよう挑戦してほしいと語りかけた。箱根副教頭は、イチロー選手の「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道」という言葉を紹介し、支えてくれている保護者に感謝の気持ちを伝えてほしいと話した。吉田コース主任は、「国立コースは合格を約束された場所ではない。だからどうやって自分にとってプラスの状況に変えていけるか、それが



後輩から先輩へ激励の言葉を送る

必要と自らの受験時の経験を踏まえ、昨年話題なうたコマで大相撲の炎鵬関が出演した百貨店そごう・

「わたしは、私。」
大逆転は、起こりうる。
わたしは、その言葉を信じない。
どうせ奇跡なんて起こらない。
それでも人々は無責任に言うだろう。
小さな者でも大きな相手立ち向かえ。
誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。
今こそ自分を貫くときだ。
しかし、そんな考え方は馬鹿げている。
勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。
わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。
土俵際、もはや絶体絶命。



(そごう・西武 2020年正月広告)

ここまで読んでくださったあなたへ。文章を下から上へ、一行ずつ読んでみてください。逆転劇が始まります。

西武の映像を使って3年生に訴えた。学級委員長の皆川海陽さんから決意表

が先輩への激励の言葉を送った。在校生を代表して2年の野沢桃花さんが先輩への激励の言葉を送った。



だるまを手にも合格を誓う

3年生の先輩方がクラス一丸となつて受験勉強に取り組んでいる姿は、とても印象的でした。先輩方の本気が伝わり、私自身も大きな力をもりました。合格を勝ち取るまでの日々は大変だと思いますが、今までの自分の努力を信じて最後まで全力で頑張ってください。応援しています。(海老澤)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、センター試験から共通テストへの変更により、例年以上に大変な受験になることと思えます。それでも放課後や隙間時間を活用して努力してきた先輩方の実力が存分に発揮できることを祈っています。緊張や不安はありませんが、自分の信じた道や、努力してきたことを信じて頑張ってください。(河田)

編集後記